

13~14 伝統的な小正月行事 鳥追い祭り

田畑の害虫を追い払い、五穀豊穡や無病息災を祈る「鳥追い祭り」が市内各所で行われました。

どの会場でも竹やカヤで小屋が作られ、観客や地域の子供たちに餅や甘酒などが振る舞われました。

祭りの最後には、地域の家庭が持ち寄った正月飾りとともに小屋に火が放たれ、参加したみなさんは小正月の伝統文化を楽しみました。



12 幼・中連携 たこあげ大会

松岡幼稚園と松岡中学校の連携事業の一環として、たこあげ大会が松岡中学校で行われました。

園児が自分で制作した「ぐにゃぐにゃだこ」を持ち寄り、中学生のお兄さんお姉さんとペアになって縦横無尽に駆け回りました。よく晴れわたり時折冷たい風が吹くグラウンドでは、高く空に舞い上がるたこもあり、大会が終わるころにはみんな汗びっしょり。1時間ほどの交流事業でしたが、園児も生徒も名残惜しそうに「またたこあげをしようね」と約束をしている姿があちこちで見られました。



20 いきいき萩っ子育成事業 ワンワンひな貯金箱をつくろう

NPO法人里山文化ネットワークが企画した三世交代交流事業が中央公民館で行われ、市内の保育園、幼稚園、小学校の子供とその保護者等9組19名が参加。成年にちなみ、ペットボトルを使った犬形の貯金箱を制作しました。出来上がった色とりどりのかわいらしい貯金箱の一部は、高萩やすんでっ亭で行われている「手作りひな人形まつり」で展示されています。



就任のごあいさつ

高萩市長
大部 勝規

市民が主役のまちづくりを進めます

先の選挙におきまして、市民の皆様からのご支援をいただき、高萩市長として市政運営を担うことになりました大部勝規です。

私は、この選挙で現在進めようとしている施策の中止や見直しを訴え続けてきました。それは、駅前へのホテル誘致に対する市税の投入と多額の費用を必要とする「道の駅」整備計画の中止。そして、旧君田小中学校の利用計画の見直しの3点です。特にホテルの誘致と「道の駅」の計画については、市税を投入するにあたっての根拠となる説明が十分とは言えないままに進んできました。ここでストップしないと将来にわたって大きな禍根を残しかねない。今、この流れを止めなければいけない。市民の目線に立って、真に市民が求めているものに取り組んでいかなければならない。それが、私が掲げた「シフトチェンジ」です。

私は、この選挙に臨む中で、数えきれないほど多くの市民の皆さんからこのまちに寄せる思いを直接聴いてきました。いたるところで「まちに元気がない」と聞かされたものの、一方で「このまちは自然が多く住みやすい」とまちへの愛着を語る皆さんに出会いました。私は、公約の一つとして「市長室を市民に開放する」と言ってきました。今、市民の皆さんは何を考えたのかなまちづくりを望んでいるのか。直接お聞きしながら施策の決定に活かしていきたいと考えています。

今、高萩市長としての第一歩を踏み出すにあたり、初心を忘れることなく、職員とともに「市民が主役のまちづくり」実現のため誠心誠意取り組んでまいりますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

高萩市長選挙結果(敬称略)

投・開票日 2月4日(日) 投票率 56.55%

当選 大部 勝規 8,396票
小田木 真代 5,590票

1 29 FM局同士が絆深める 相互放送協定を締結



たかはぎFMとFMいわきが「コミュニティFM相互放送に関する協定」を結びました。

これは、昨年末に高萩市と福島県いわき市が災害時における広域避難協定を結んだことを受け、万一の時に避難者への情報提供はもちろん、通常時でも両FM局の交流と連携を深め、両市の市民生活の利便性の向上を図ることを目的としています。「災害時には高萩市の生の情報を伝え、市民が安心して生活できるお手伝いを」とたかはぎFMの鈴木理事長。FMいわきの渡辺社長は「日頃から交流し、万一の場合には連携対応していきたい」と話しました。

2 9 防災講演会

高萩市危険物安全協会と高萩市防火管理者協議会が合同で行う平成29年度防災講演会が総合福祉センターで開催されました。

講演会には両協会の会員である企業の管理者等約60人が参加し、元東京消防庁狛江消防署副署長の岡眞佐雄先生を講師に招いて「近年の大規模建築物及び危険物施設の災害」についての講演をいただきました。

施設の防火・防災対策など、具体的な事例を挙げての講演に、参加された会員のみなさんは真剣な表情で聞き入っていました。



浜野町踏切が新名所に!?

昨年度開催の茨城県北芸術祭で高戸小浜海岸にて展示された「ソウル・シェルター（魂の殻）」を浜野町踏切の南側に設置しました。

これは、制作者のスッシリ・パイオック氏から市に寄贈されたもので、市民と常磐線を利用するみなさんに芸術に触れる機会を持ってもらうために設置したものです。貝殻の中から人の指が突き出た形をしており、一見不気味に思えますが、「仮の宿に住まう人間の努力や生命力・新しい肉体への魂の旅」という作者の思いが込められた作品です。



1 26 2 26 幼稚園でサッカー教室 (今月の表紙)

市内の幼稚園4園で、アントラース、ホーリーホック、ステイゴールドサッカークラブのコーチ等によるサッカー教室が開かれました。子どもたちはサッカーの楽しさ、体を動かす喜びを体感し、大きな歓声を上げながら楽しそうにボールを追いかけていました。この事業は各クラブの社会貢献活動の一環として行われています。



2 4 マダガスカルってどんなところ？ 文化交流講演会

高萩市国際交流協会主催の文化交流講演会が旧教育委員会で行われました。講師はアフリカ東海岸のインド洋に位置するマダガスカル共和国出身で、茨城キリスト教学園高等学校で英語教師をしているラスアナイブ・スアルニチャ・ジェシカさん。マダガスカルではマダガスカル語とフランス語が公用語で、英語と日本語も流暢に操るマルチリンガルなジェシカさんは、日本語は高校一年生から独学で覚えたそうです。ユーモアを交えたお話はとても面白く、参加したみなさんからは次々と質問が飛び出しました。高萩市国際交流協会では様々な活動を行っており、随時会員を募集しています。興味のある方は生涯学習課へご連絡を。



2 10 楽しく遊んで科学を学ぶ 子ども会のおもしろ実験室

地区の子ども会に加入していない子どもたちにも楽しく遊んで学んでもらおうと、高萩市子ども会育成連合会が毎年実施しているこの事業。今年は約30人の子どもたちとその保護者が参加し、中央公民館で行われました。午前中は全学年一緒におもしろい動きをするおもちゃを作り、午後は低学年・高学年にわかれて実験。お昼には子ども会育成連合会特製カレーが振る舞われ、参加したみなさんの笑顔があふれました。

